

## 平成 18 年度 第 3 回理事会議事録

期 日 平成 19 年 3 月 18 日 ( 日 ) 14:00 ~ 17:00  
場 所 (株)開発工営社会議室  
出席数 理事 24 名の内、出席 22 名、欠席 2 名  
議 事

### 1 . 平成 18 年度各委員会活動報告

- ・ 前回の理事会欠席で報告できなかった強化委員長と安全対策委員長から、事業報告があった。
- ・ 大学委員長から、大学生のマウスガードの取り扱いについて質問があった。高校生においてはマウスガードが義務化されているが、大学については各大会で対応がまちまちであるが義務化の方向で動いていることが安全対策委員長から報告された。
- ・ 普及育成委員長から、各支部の普及育成委員から報告された事業一覧表についての説明があった。また、2 月に行われた「サントリーカップ 第 3 回全国小学生タグラグビー選手権大会」速報号外の説明があった。
- ・ コーチソサエティ委員長から、前日に行われた道東地域の新スタートコーチ資格認定講習会について報告があった。

### 2 . 平成 19 年度事業計画及び予算について

#### < 事業計画 >

- ・ 庶務担当理事から、各種大会及び講習会・研修会について資料が示され各委員会と確認した。各種大会についてはグラウンド使用などの調整があった。
- ・ 競技委員長から、北海道選手権大会に関して、夕張グラウンドの夕張市担当者が決定次第交渉を行い、その結果を踏まえ全体のグラウンド使用及び日程の調整に入ることが報告された。
- ・ 各種大会における賞状は大会役員が責任を持って用意をするものとし、協会事務局に作成を依頼する場合は、開催 2 週間前までに内容と要項のデータを協会宛にメールすることが確認された。
- ・ レフリーソサエティ委員長から、委員からの意見を集約した事業反省・評価報告書が提出された。これを踏まえ、平成 19 年度各種大会におけるレフリーの配置などについて確認と調整があった。

#### < 予 算 >

- ・ 会計担当理事から、各委員会からの予算申請に基づく予算書と、査定を加味した原案予算書が提出された。これによると各委員会からの予算申請に基づく予算では 3,143 千円の赤字予算となることが報告された。このことから、査定を加味した 421 千円の赤字予算となる原案が提案された。
- ・ メディカルソサエティ委員長から、申請したドクターバックの予算付けについて再考の要請があり、承認された。その他の予算については原案が承認された。

<登録について>

- ・ 会計担当理事から、平成 19 年度のチーム・個人登録について説明があった。

<財務委員会>

- ・ 植田理事長（委員長）
- ・ 高嶋副理事長
- ・ 小泉庶務担当理事
- ・ 佐藤庶務担当理事
- ・ 原田会計担当理事
- ・ 林 憲雄理事
- ・ 中島 勝己
- ・ 露木 茂
- ・ 鈴木 大介
- ・ 山田 芳嗣
- ・ 星広報委員長（事務局）

<北海道大会委員会>

- ・ 高嶋副理事長（委員長）
- ・ 竹村副理事長
- ・ 小泉庶務担当理事
- ・ 佐藤庶務担当理事（事務局）
- ・ 津軽強化副委員長
- ・ 廣瀬レフリー委員長
- ・ 田尻競技委員長
- ・ 竹花大学委員長
- ・ 白方社会人・クラブ委員長
- ・ 三島 寛隆
- ・ 山崎 高德
- ・ 星広報委員長

- ・ 個人登録の遅延改善の要請があった。支部からは、追加登録を随時すると登録金の振込手数料の負担が大きくなることが指摘されたが、登録者見舞金制度の観点から早期登録の必要性が確認された。
- ・ 新しくチームを登録する場合には有資格者のコーチ（スタートコーチ等）が必要となるが、スタートコーチの資格取得講習会を随時開催することは困難であり、時期を決めて（年 2 回程度）3 地区程度で開催することが確認された。
- ・ スクール指導者の個人登録が必要となるが、指導者が加盟チームで個人登録をしている場合は必要ないとの説明があった。なお、スクールのチーム登録は免除となる。

3. その他

- ・ 理事長から、財務委員会及び北海道大会委員会の委員の発表があった。

- ・ 理事長から、理事会の内容を支部に降ろすことが指示された。
- ・ 2007-2008 トップリーグの北海道での試合は、今シーズンの試合日程がワールドカップの開催によって10月下旬からになるため気象条件及びグラウンドの制約から行わないことが報告された。
- ・ 道体育協会の強化事業補助金が、平成19年度事業についても例年通りとなることが報告された。
- ・ ドーピングについての報告が2項目あった。国体では、これまで本大会だけが対象となっていたが、今後は本大会以外でも実施されることとなったが、対象の競技団体は道体協で決定することとなるので、決定された場合は実施に協力願いたいこと。5月中旬に札幌で、ドーピングにかかわる講習会が予定されていることから参加することが指示された。
- ・ ラグビーボールの特約契約による販売について、事務局が具体的なスキームを作り早急に周知することが確認された。
- ・ 東医体ラグビー競技実行委員会から要請を受けている野幌運動公園での開催について日程が報告され、関係各委員会で協力することが確認された。
- ・ 高校生のルールの改正、痛み止め注射の禁止についての情報提供があった。今後の動向について注意をしていくことが確認された。
- ・ 平成18年度第4回理事会と第1回評議会を、4月22日(日)11:00(理事会)・13:00(評議会)にKKRで開催することを決定した。また、平成19年度は理事長指名理事の改選期にあることが確認された。